

带状疱疹ワクチンについて

【带状疱疹とは】

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。

体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に生じます。

80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。



【带状疱疹の症状】

带状疱疹の初期症状は、皮膚の痛みや違和感・かゆみです。

続けて皮膚症状が現れると、ピリピリと刺すような痛みとなり、夜も眠れないほど激しい場合があります。

【带状疱疹の合併症】

带状疱疹の合併症として、皮膚症状が治った後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛 (PHN) ピーエイチエヌ」が知られています。

さらに、带状疱疹は目や耳や顔にも症状が出ることもあります。

※経過や痛みの程度には個人差があります。



【带状疱疹の原因】

80歳までに約3人に1人が発症

带状疱疹の原因は水ぼうそうと同じウイルスで、日本人の成人 90%以上の体内に潜んでいます。

加齢や疲労、ストレスで免疫機能が下がると、ウイルスが活性化して带状疱疹を発症することがあります。

50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。

【带状疱疹の予防】

带状疱疹の予防には、規則正しい生活習慣や適度な運動が大切です。

その他に 50 歳以上の方は、带状疱疹の予防接種を受けることができます。

※予防接種は带状疱疹を完全に防ぐものではありません。

名称 (ワクチン製造メーカー)	乾燥弱毒生水痘ワクチン ビケン (阪大微研)	乾燥組換え带状疱疹ワクチン シングリックス (GSK)
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
対象	50歳以上	50歳以上 または 带状疱疹に罹患するリスクが高いと 考えられる18歳以上の者
接種回数	1回	2回
費用	1万円程度	4万円程度 (2回で)
接種方法	皮下注射	筋肉注射
発症予防効果	69.8%	96.6%
持続性	5年程度	9年以上

2ヶ月の間隔
をおいて

補助なしの場合、厚生労働省ワクチン分科会資料、ワクチン取扱説明書、添付文書より
(発症予防効果は50歳～59歳に対する効果)

主な副反応：発赤、そう痒感、熱感、腫脹、疼痛、硬結関節痛

※水痘ワクチン (生ワクチン) は、明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する方や免疫抑制をきたす治療中の方は接種できません。

【対象・費用】

接種対象は 50 歳以上ですが、年齢により 2025 年 4 月から札幌市の助成が始まりました。

- ① 年度内に 65 歳を迎える方
- ② 60～64 歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。
- ③ 令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間の経過措置として、その年度内に 70、75、80、85、90、95、100 歳 (※) となる方も対象となります。

※ 100 歳以上の方については、令和 7 年度に限り全員対象となります。

水痘ワクチン：(助成ありの方) 0～4500 円、(助成なしの方) 8250 円

シングリックス：(助成ありの方) 2 回分で 0～21600 円

(助成なしの方) 2 回分で 44800 円